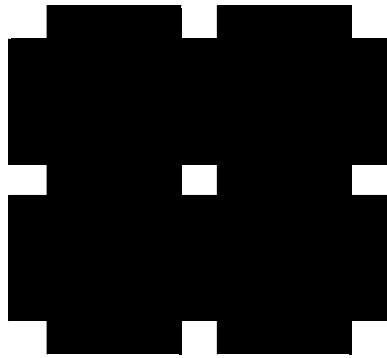


平成 2 4 年 度

事 業 概 要



岐阜市保健所食肉衛生検査所

目 次

第1章	総 説	
	1 沿 革	1
	2 所在地	2
	3 組織・機構	3
	4 職員構成	3
	5 所轄と畜場及び食鳥処理場	3
	6 検査手数料等	4
	7 検査所平面図	4
	8 主要検査機器	5
第2章	と畜検査業務	
	1 と畜検査頭数	
	(1) 年度別と畜検査頭数	7
	(2) 月別と畜検査頭数	8
	(3) と畜場外と畜頭数	8
	(4) 緊急と畜検査頭数	8
	(5) 牛産地別出荷頭数	8
	2 と畜検査結果に基づく措置	
	(1) 獣畜のと畜禁止又は廃棄したものの疾病別内訳	9
	(2) 一部廃棄したものの病類別内訳	10
	(3) 過去10年間の疾病別全部廃棄の推移	12
	3 精密検査実施状況	
	(1) 精密検査件数	13
	(2) 残留抗菌性物質検査件数	13
	(3) 抗菌性物質等の残留物質モニタリング調査件数	13
	(4) BSEスクリーニング検査頭数	14
	(5) 枝肉の微生物汚染調査件数	14
	(6) グリア繊維性酸性タンパク (GFAP) 残留量調査件数	14
第3章	食鳥検査業務	
	1 検査羽数	
	(1) 月別食鳥検査羽数	15
	(2) 年度別検査羽数推移	15
	2 精密検査実施状況	
	(1) 精密検査件数	17
	(2) 残留抗菌性物質検査件数	17
	(3) 抗菌性物質等の残留物質モニタリング検査件数と内訳	17
	3 検査廃棄処分したものの内訳	
	(1) 食鳥のとさつ、内臓摘出禁止又は廃棄したものの原因	18
	(2) 月別疾病羽数・処分羽数	19
第4章	その他の事業	
	衛生講習会等の実施状況	20
第5章	調査研究	
	1 調査研究発表演題一覧	21
	2 平成24年度調査研究 口蹄疫の発生を想定した演習実施について	22
第6章	付 表	
	食肉市場の概要	25

第1章 総説

1. 沿革

大正12年	3月	岐阜市上加納山にと畜場設置 市営と畜場として開場
昭和24年	12月	法改正により岐阜市が政令市となる と畜検査業務が、岐阜市保健所所管となる
昭和42年	11月	岐阜市茜部5635の1にと畜場を新築移転 岐阜市食肉センターと改称 岐阜市南保健所衛生課と畜検査係となる
昭和48年	1月	岐阜市食肉地方卸売市場として開設許可を受ける
昭和49年	4月	岐阜市南保健所食肉検査課となる
昭和52年	4月	町名変更により岐阜市境川5-148となる
昭和56年	2月	食肉検査室完成 鉄骨平屋建 68㎡
昭和56年	4月	機構改革により岐阜市中央保健所食肉検査課となる
昭和63年	2月	食肉検査室増改築完成 鉄筋コンクリート二階建一部鉄骨平屋建 308㎡
平成4年	4月	食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律の 施行により食鳥検査業務が食肉検査課所管となる 検査一係 ・ 検査二係となる
平成6年	4月	名称変更により岐阜市中央保健所食肉衛生検査所 となる
平成9年	4月	機構改革により岐阜市保健所食肉衛生検査所となる と畜検査係 ・ 食鳥検査係となる
平成11年	4月	名称変更により、と畜検査係が食肉検査係となる
平成12年	4月	機構改革により岐阜市保健福祉部保健所食肉衛生 検査所となる
平成13年	10月	BSEスクリーニング全頭検査開始
平成14年	4月	BSE専用検査室完成
平成15年	4月	機構改革により岐阜市市民健康部保健所食肉衛生 検査所となる 食肉検査グループ ・ 食鳥検査グループとなる
平成17年	4月	と畜検査手数料を改定
平成20年	4月	機構改革により市民健康部が健康部となる
平成23年	4月	機構改革により食肉検査係・食鳥検査係となる
平成25年	7月	BSEスクリーニング検査が48か月齢超に限定され、 全頭検査が見直しとなる

〒500-8266

岐阜市境川5丁目148番地

電話 (058)275-1550

FAX (058)275-1554

アクセス方法

鉄道利用の場合

1) 駅よりタクシー利用の場合

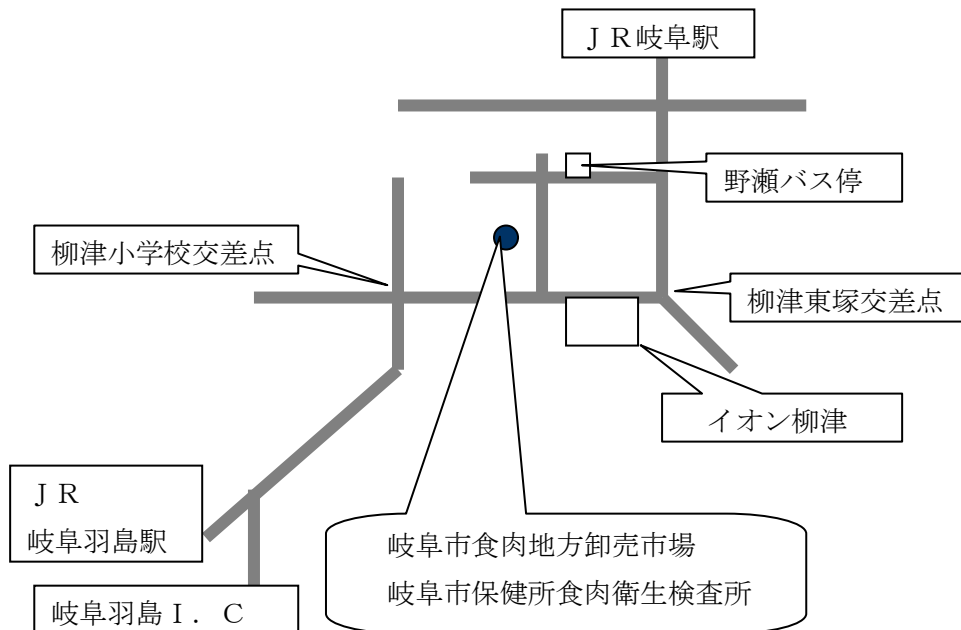
JR岐阜駅、JR新幹線岐阜羽島駅より、「岐阜市食肉地方卸売市場」行きを告げる。

2) 駅よりバス利用の場合

JR岐阜駅より、岐阜バス三田洞茜部線「高桑行き」に乗車し野瀬バス停下車後
前進し最初の交差点を左折し600m南進する。

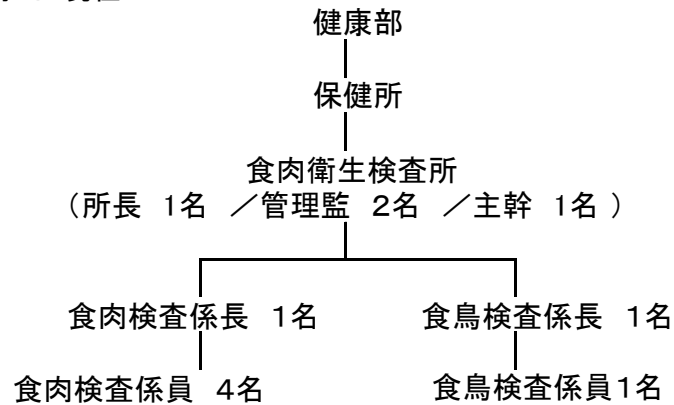
高速道路利用の場合

名神高速岐阜羽島I. C出口を左折し直進後、県道151号(岐阜羽島線)に右折して入る。
さらに直進して県道1号に合流して進み柳津小学校前交差点を右折して、
9番目の交差点を左折し200m進む。



3. 組織・機構

平成25年4月1日現在



4. 職員構成

平成25年4月1日現在

職名	人数
所長	1
管理監	2
主幹	1
主査	2 (係長 2)
主任	3
主任技師	2
嘱託職員	3 (食肉検査係 3名)
計	14

5. 所轄と畜場及び食鳥処理場

平成25年4月1日現在

所轄	名称	所在地
と畜場	岐阜市食肉地方卸売市場	岐阜市境川5丁目148
食鳥処理場	株式会社ギフシヨク	岐阜市安食491

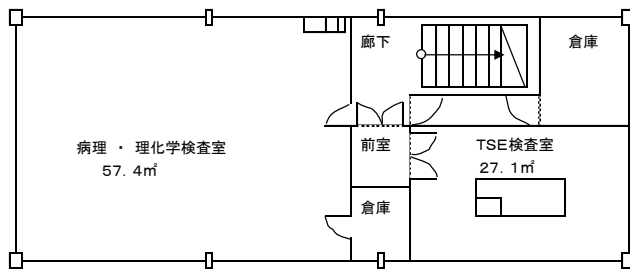
6. 検査手数料等

平成25年4月1日現在

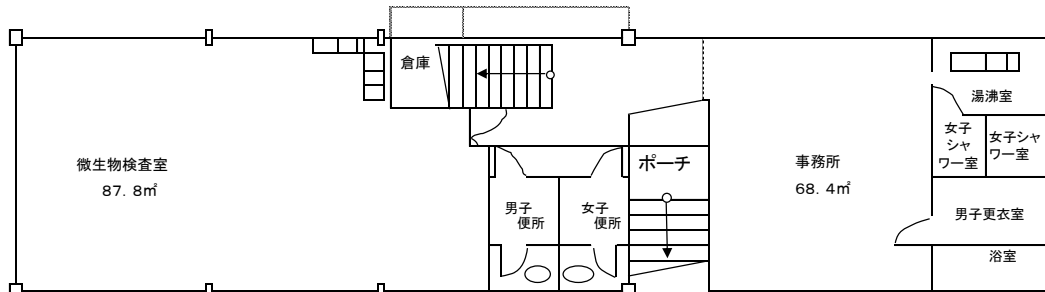
畜種	検査手数料	と畜場使用料	解体料	備考
牛・馬	700	2,520	4,200	
豚	300	840	2,000	枝肉重量100kg以上
	300	840	1,050	
とく	300	840	1,050	
めん羊・山羊	300	840	1,050	
食鳥	3	—	—	

(1頭又は1羽につき 単位：円)

7. 検査所平面図



2階



1階

出入口

8. 主要検査機器

微生物関係

機器名	数量	型 式
デシケーター	2	井内 WWN他
電子上皿天秤	2	メトラー PJ-360 TANITA KD-200
超音波洗浄器	1	ヤマト IC-42
薬用冷蔵庫	5	サンヨー MPR-1011他
ディープフリーザー	1	日本フリーザー VT-208
恒温振盪水槽	1	東洋アドバンテック TS-20S
バイオクリーンベンチ	1	サンヨー MCV-B161F
蛍光顕微鏡	1	オリンパス BHS-RFK-AI型
倒立顕微鏡	1	オリンパス CK2-TR
顕微鏡撮影装置一式	2	オリンパス BH-2 ニコン eclipse 80i、KEYENCE VB-7010
現像焼付装置一式	1	オリンパス
スライド投影器	1	キャビン工業オートキャビン
ストマッカー	1	グンゼマスティケーター 400D
ホモジナイザー	1	日立 HG30
フリーザー	1	サンヨー MDF-235
CO ₂ インキュベーター	1	サンヨー MCO-175
インキュベーター	2	サンヨー MIR-252
	1	ヤマト IC-102
オートクレーブ	1	サンヨー MLS-3000
	1	サンヨー MLS-3750
乾熱滅菌器	2	ヤマト SG-81 ADVANTEC FV-830
恒温乾燥機	1	サンヨー MDV-102
DNA増幅装置	2	宝酒造 TP-3000 Verit™ 200
電気泳動装置一式	1	イワキ ALB-301
電気泳動撮影装置	1	フナコシ FP-6000
トランスイルミネーター	1	フナコシ LM-20-E
微量高速遠心器	1	トミー MX-160
製水器	1	ホシザキ KM
デシトメーター一式	1	ATTO TYPE-CY
蒸留水製造装置	1	ADVANTEC RFD240NA
超純水製造装置	1	ミリポア SIMSV0000
薬品保管庫	1	セーフティキャビネットSF-5BE

BSE関係

機器名	数量	型 式
電子上皿天秤	1	ザルトリウス 363-65-58-19
細胞・試料破碎装置	1	安井器械 マルチビーズショッカー
	2	フナコシ FastPrep FP120
電動連続分注器	5	エッペンドルフ マルチハットプロ、マルチハットstream、マルチハットプラス×3
恒温水槽	1	アズワン サーマルロボTR-1A
冷却遠心機	2	クボタ 3615、エッペンドルフ Centrifuge 5417R
ボルテックス	2	VORTEX GENIE2 G560
サーモアルミバス(2槽式)	1	IWAKI DOUBLE ALUMI BATH ALB-301
	1	COOL STAT anatech モデル 5520a
マイクロプレートウォッシャー	2	バイオラッド モデル1575
マイクロプレートリーダー	2	バイオラッド モデル550、Thermo Multiskan FC Type357
冷凍冷蔵庫	1	SANYO MEDICOOL MPR-414FS
高圧蒸気滅菌器	1	TOMY精工 KS-323
安全キャビネット	1	HITACHI SCV

理化学関係

機器名	数量	型 式
遠心分離機	2	KOKUSAN H-103N
分光光度計	1	島津 UV-120-02
アスピレーター	1	イワキ ASP-13MDA
恒温器	1	ヤマト IC-102
ロータリーエバポレーター	2	東京理化 N-1000型
電気泳動装置	1	アトー科学
高速液体クロマトグラフ	2	島津 LC-10Aシステム
分光蛍光検出器	1	島津 RF-10AXL
フォトダイオードアレイ検出器	1	島津 SPD-M10AVP
電子上皿天秤	1	PB303-S 島津AUW220D
超音波洗浄器	1	エルテック UT-30A
ピペット用超音波洗浄器	1	島津 SUS-100PN
薬用保冷庫	3	サンヨー MPR-504他
バイオメディカルフリーザー	1	三洋電気(株) MDF-U338他
赤外線水分計	1	島津 TV-250D
全自動スーパードライシステム	2	スポットケムSP-4410 スポットケムSP-4430
pHメーター	1	東亜DKK HM-30G
振とう器	1	ヤマト SA300
蒸留水製造装置	1	アドバンティック RFD230RA

病理関係

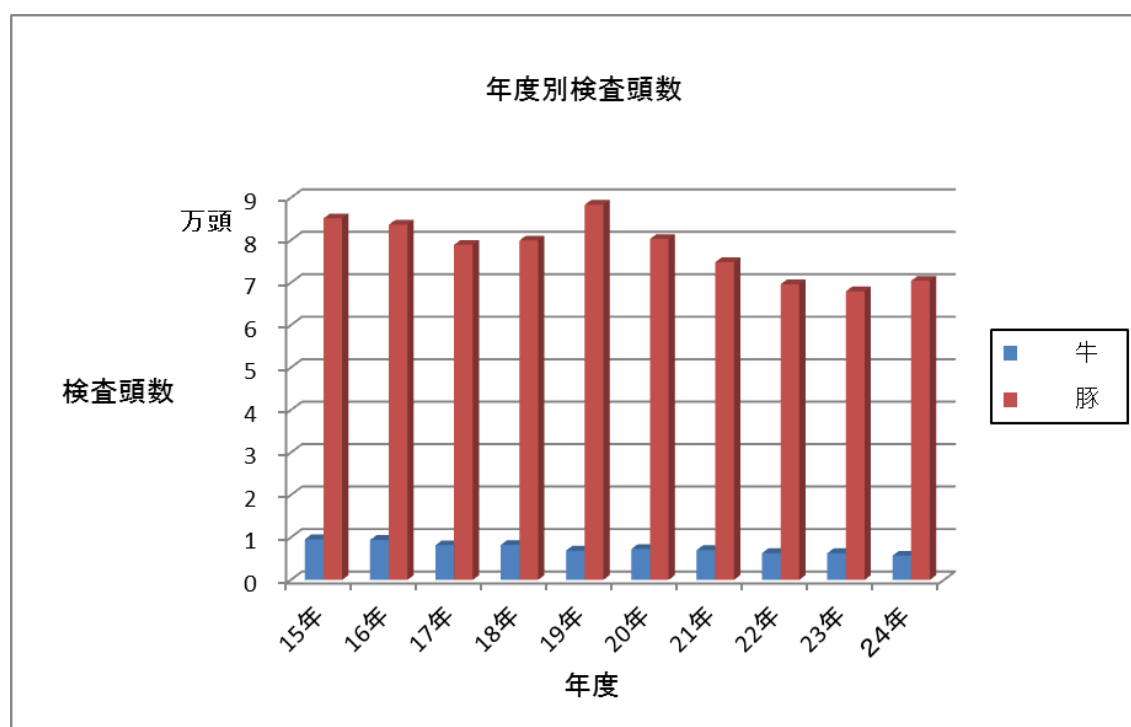
機器名	数量	型 式
マイクローム 一式	1	ヤマト工機 TU-213
クリオスタット	1	白井松 スターレット2122
パラフィン溶融器	1	池本理化 B1
ドラフトチャンバー	1	ヤマト FRS-120型
実体顕微鏡	1	オリンパス SZH10-131
自動包埋器	1	白井松 オーキット1400P
パラフィン伸展器	1	サクラ PS-52
フリーザー	1	三洋 MDF-330
ドライキーパー	1	島津 ED-130

第2章 と畜検査業務

1. と畜検査頭数

(1) 年度別と畜検査頭数

年度 \ 畜種	牛	馬	豚	とく	めん羊 山羊	総数
15年	9,550		85,145			94,695
16年	9,408		83,678	1		93,087
17年	8,158		78,925			87,083
18年	8,231		79,950	1		88,182
19年	6,908		88,368	1		95,277
20年	7,295		80,306			87,601
21年	7,015		74,846	3		81,864
22年	6,290		69,647			75,937
23年	6,306	1	67,975			74,282
24年	5,702		70,467			76,169



(2) 月別と畜検査頭数

月	畜種	黒毛和種		交雑種		ホルスタイン種		ブラウンスイス種		肉専用種		牛計	とく	馬	豚	めん羊	山羊	総数
		去勢	雌	去勢	雌	去勢	雌	去勢	雌	去勢	雌							
4		304	118	6	3	4	0	0	0	9	0	444	0	0	5,415	0	0	5,859
5		291	135	5	3	2	0	0	0	15	0	451	0	0	6,014	0	0	6,465
6		287	133	2	2	3	0	0	0	14	0	441	0	0	5,469	0	0	5,910
7		326	111	5	4	2	0	0	0	12	0	460	0	0	5,364	0	0	5,824
8		352	139	4	4	3	0	0	0	15	0	517	0	0	5,869	0	0	6,386
9		276	104	3	3	4	0	0	0	10	0	400	0	0	5,533	0	0	5,933
10		286	107	9	1	0	1	0	0	12	0	416	0	0	6,709	0	0	7,125
11		455	210	11	4	0	0	0	0	8	0	688	0	0	6,746	0	0	7,434
12		512	182	9	4	1	0	0	0	9	0	717	0	0	6,090	0	0	6,807
1		278	113	5	1	0	1	0	0	10	0	408	0	0	6,039	0	0	6,447
2		243	88	11	2	1	0	0	0	9	0	354	0	0	5,291	0	0	5,645
3		260	130	7	1	1	0	0	0	7	0	406	0	0	5,928	0	0	6,334
総数		3,870	1,570	77	32	21	2	0	0	130	0	5,702	0	0	70,467	0	0	76,169

(3) と畜場外と殺頭数

切迫と殺	畜種	牛	とく	馬	豚	合計
不慮の災害で救うことのできない状態	0	0	0	0	0	
難産	0	0	0	0	0	
産褥麻痺	0	0	0	0	0	
急性鼓脹症	0	0	0	0	0	

(4) 緊急と畜検査頭数

畜種	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
		牛	3	2	4	1	4	2	2	2	7	7	0	
豚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

(5) 牛産地別出荷頭数

出荷県	黒毛和種			交雑種			ホルスタイン種			ブラウンスイス種			和牛間交雑種			総計
	去勢	雌	計	去勢	雌	計	去勢	雌	計	去勢	雌	計	去勢	雌	計	
岐阜	3,374	1,514	4,888	18	17	35	1	2	3	0	0	0	123	0	123	5,049
長崎	467	40	507	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	507
福井	5	0	5	57	1	58	1	0	1	0	0	0	0	0	0	64
神奈川	13	13	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26
三重	3	1	4	0	4	4	15	0	15	0	0	0	0	0	0	23
愛知	5	0	5	1	10	11	1	0	1	0	0	0	0	0	0	17
オーストラリア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	7	7
静岡	0	0	0	0	0	0	3	0	3	0	0	0	0	0	0	3
滋賀	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
北海道	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
岩手	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
和歌山	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
広島	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
総計	3,870	1,570	5,440	77	32	109	21	2	23	0	0	0	130	0	130	5,702

2. と畜検査結果に基づく措置

(1) 獣畜のと殺禁止又は廃棄したものの疾病別内訳

畜種	牛			とく			馬			豚			めん羊			山羊			
	措置	禁止	全部 廃棄	一部 廃棄	禁止	全部 廃棄	一部 廃棄	禁止	全部 廃棄	一部 廃棄	禁止	全部 廃棄	一部 廃棄	禁止	全部 廃棄	一部 廃棄	禁止	全部 廃棄	一部 廃棄
処分実頭数			17	3,598							130	32,580							
細菌病	炭疽			/			/			/			/			/			/
	豚丹毒	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	サルモネラ症			/			/			/			/			/			/
	結核病																		
	ブルセラ病						/	/	/										
	破傷風			/			/			/			/			/			/
	放線菌症	/			/			/			/			/			/		
	その他																		
リウケイルスチス・ア病	豚コレラ	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	その他																		
原虫病	トキソプラズマ病			/			/			/			/			/			/
	その他																		
寄生虫病	のう虫病																		
	ジストマ病	/		25	/			/			/			/			/		
	その他											7,416							
その他の疾病	膿毒症			/			/			/	112	/			/		/		/
	敗血症		1	/			/			/	7	/			/		/		/
	尿毒症		7	/			/			/	5	/			/		/		/
	黄疸		1	11								3							
	水腫		1	168								173							
	腫瘍		2								1	1							
	中毒諸症			/			/			/		/			/		/		/
	炎症又は炎症産物による汚染	/		6,153	/			/		/	2	51,744	/		/		/		/
	変性又は萎縮	/		385	/			/		/	3	1,912	/		/		/		/
	その他		5	1,904								14,345							
計			17	8,646							130	75,594							

(2) 一部廃棄したものの病類別内訳

病類	畜種	牛	とく	馬	豚	めん羊	山羊
消化器系	肝 肝 蛭 症	25					
	肝 間 質 炎				4,711		
	肝 膿 瘍	315			6		
	肝 包 膜 炎	109			2,410		
	胆 管 炎	217					
	肝 炎	106			935		
	褪 色 肝	494			7,333		
	脂 肪 肝						
	肝 硬 変	6			14		
	肝 富 脈 斑	1					
	肝 出 血 斑	1,137					
	鬱 血 肝	12			1		
	鋸 屑 肝	386					
	肝 嚢 胞				1		
	胃 炎	640			891		
	創 傷 性 胃 炎						
	胃 潰 瘍				9,660		
	鼓 張 症						
	小 腸 炎	690			5,061		
	大 腸 炎	702			5,061		
	大 腸 粘 膜 変 色						
	腸 間 膜 脂 肪 壊 死	20					
	腸 間 膜リンパ 乾酪 変性				9		
	腸 リンパ 壊 死						
	腸 間 膜 水 腫				6		
	腸 間 膜 膿 瘍						
	直 腸 脱	1			30		
	鎖 肛						
	回 虫 寄 生				2,654		
	腸 気 泡 症				4		
脾 臓 炎							
へ ル ニ ア	1			676			
腹 膜 炎	14			1,932			
直腸周囲脂肪壊死	81						
呼吸循環器系	肺 炎	95			9,900		
	肺 膿 瘍	23			3,559		
	胸 膜 炎	16			4,491		
	血 液 吸 入 肺	15			3,932		
	異 物 吸 入 肺						
	肺 気 腫	41			2,064		
	肺 水 腫						
	心 外 膜 炎	7			2,564		
	心 内 膜 炎	1			7		
	心 内 膜 出 血	3					
	心 筋 炎	8			1		
	横 隔 膜 水 腫	4					
	横 隔 膜 膿 瘍	46			24		
	横 隔 膜 筋 肉 出 血	5					
	横 隔 膜 炎	1					
	縦 隔 膜 水 腫	15					
	縦 隔 膜 膿 瘍	9					
	縦 隔 膜 筋 肉 出 血	8					
	縦 隔 膜 炎	1					
	脾 う つ 血	1			13		
脾 膿 瘍				1			
脾 捻 転				3			
脾 腫				1			
脾 出 血 梗 塞				5			

病類	畜種	牛	とく	馬	豚	めん羊	山羊	
		泌尿生殖器系	腎炎	12			128	
腎膿瘍	18				6			
腎嚢胞	1				1,608			
腎水腫	17				3			
腎脂肪壊死	211							
腎結石	32							
膀胱炎	18				5			
膀胱結石	31				11			
尿道炎	7							
尿道結石	23							
妊娠子宮					36			
死胎								
卵巣嚢腫					15			
子宮内膜炎					9			
子宮蓄膿症					9			
子宮脱								
膣脱					2			
乳房炎	1				25			
皮膚運動器系	皮膚炎		31			5		
	角損傷		4					
	四肢骨折	8			149			
	その他骨折	6			15			
	脱臼	15			128			
	関節炎	46			997			
	四肢膿瘍	15			698			
	その他膿瘍	43			2,263			
	筋肉水腫	142			161			
	筋肉変性	71			247			
	筋肉出血	22			99			
	褥創	2			7			
	打撲傷	593			938			
	咬傷				415			
	挫傷	2			11			
	火傷				17			
	裂傷				1			
	脂肪変性				41			
	脂肪水腫				2			
	血腫	1			3			
その他	放線菌症							
	奇形	93			455			
	抗生物質陽性							

(3) 過去10年間の疾病別全部廃棄の推移(と畜場法・食品衛生法による)

疾病名	年度											合計
	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24		
牛	敗血症	1	1			2		4	1	4	1	14
	尿毒症	10	22	4	3	10	9	7	13	10	7	95
	高度の黄疸	1	5	2	2	2	2		2	2	1	19
	高度の水腫	1		1	1		1		2		1	7
	白血病			1		1	3	2	2	4	5	18
	中毒諸症											0
	炎性産物等による汚染	1	1				1					3
	腫瘍										2	2
	抗菌性物質等残留											0
	合計	14	29	8	6	15	16	13	20	20	17	158
豚	敗血症	22	22	19	12	19	32	23	25	34	7	215
	膿毒症	40	35	36	29	71	81	58	91	91	112	644
	豚丹毒	2	1			1	8	5	1			18
	尿毒症	2	4	5	1	3	2	2	6	6	5	36
	高度の黄疸	3	2	2	1	3				1		12
	白血病				3							3
	熱性諸症											0
	抗菌性物質等残留											0
	その他	2		1	1	1	2	1	4	6	6	24
	合計	71	64	63	47	98	125	89	127	138	130	952

3. 精密検査実施状況

(1) 精密検査件数

畜種	項目 病類		検査頭数	精密検査内容					処分 全部廃棄頭数
				細菌	病理	理化学		原虫その他	
						血液検査	その他		
牛	敗血症	症状心内炎	1	1		1	1		1
		その他							
	尿毒症		8			52	9		7
	黄疸		1			8	1		1
	水腫		1			1	1		1
	炎症		1			1			0
	白血病		6		6	6	2		5
その他		3		3	170	53		2	
豚	敗血症	症状心内炎	7	7		1	1		7
		その他							
	尿毒症		6			8	6		5
	黄疸					3			
	膿毒症		112			11	10		112
	白血病								
	豚丹毒		1	1					0
	変性または萎縮		3						3
炎症		2	1		1			2	
中毒									
その他		1		1	68	44		1	
総計			153	10	10	331	128	0	147

(2) 残留抗菌性物質検査件数

I 病畜検査

畜種	検査頭数	検査検体数	陽性検体数	
			筋肉	腎臓
牛	66	132	0	0
豚	58	116	0	0
合計	124	248	0	0

II 繁殖豚検査

検査頭数	陽性頭数
547	0

(3) 抗菌性物質等の残留物質モニタリング調査件数

検査項目名	畜種	検査検体数	検査結果
抗菌性物質	牛	178	全て基準値以下
	豚	178	
内部寄生虫用剤	牛	24	
	豚	24	

(4) 牛海綿状脳症(BSE)スクリーニング検査頭数

月 齢	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
21ヶ月齢 未満	1	2	2	5	1	3	6	1	4	2	1	2	30
21ヶ月齢 以上	443	449	439	455	516	397	410	687	713	406	353	404	5,672
30ヶ月齢 未満	311	300	306	318	377	271	279	508	554	271	267	306	4,068
30ヶ月齢 以上	133	151	135	142	140	129	137	180	163	137	87	100	1,634
計	444	451	441	460	517	400	416	688	717	408	354	406	5,702
最高月齢	34	34	34	43	35	36	37	36	34	34	34	34	

(5) 枝肉の微生物汚染調査件数

畜種	検査頭数	検査検体数	検査項目					
			一般生菌数	大腸菌群数	O-157	サルモネラ属菌	黄色ブドウ球菌	カンピロバクター
牛	220	440	440	440	440	440	440	440
豚	225	450	450	450	450	450	450	450
計	445	890	890	890	890	890	890	890

(6) グリア繊維性酸性タンパク(GFAP)残留量調査件数

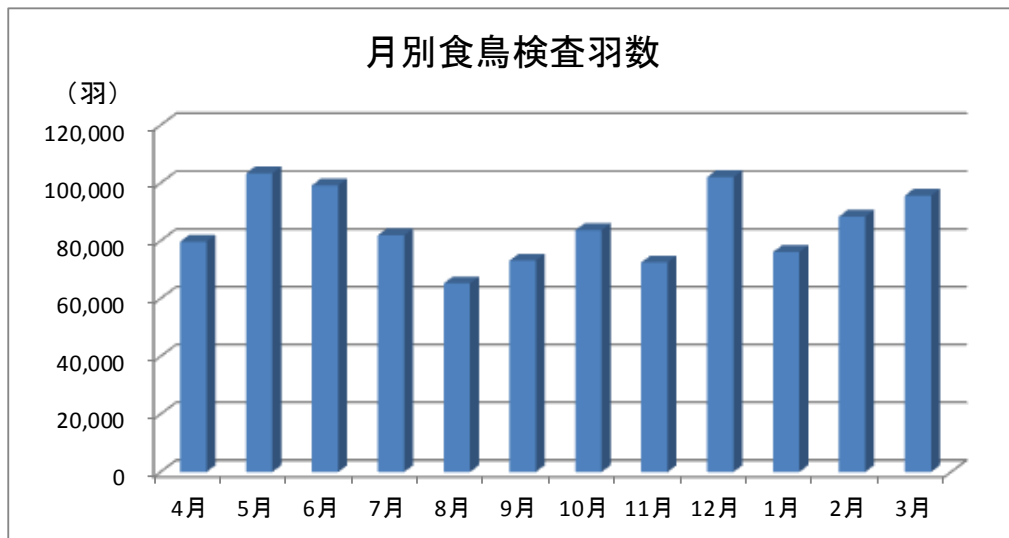
検査対象	検査頭数	検査検体数
牛枝肉	40	80

第3章 食鳥検査業務

1 検査羽数

(1) 月別食鳥検査羽数

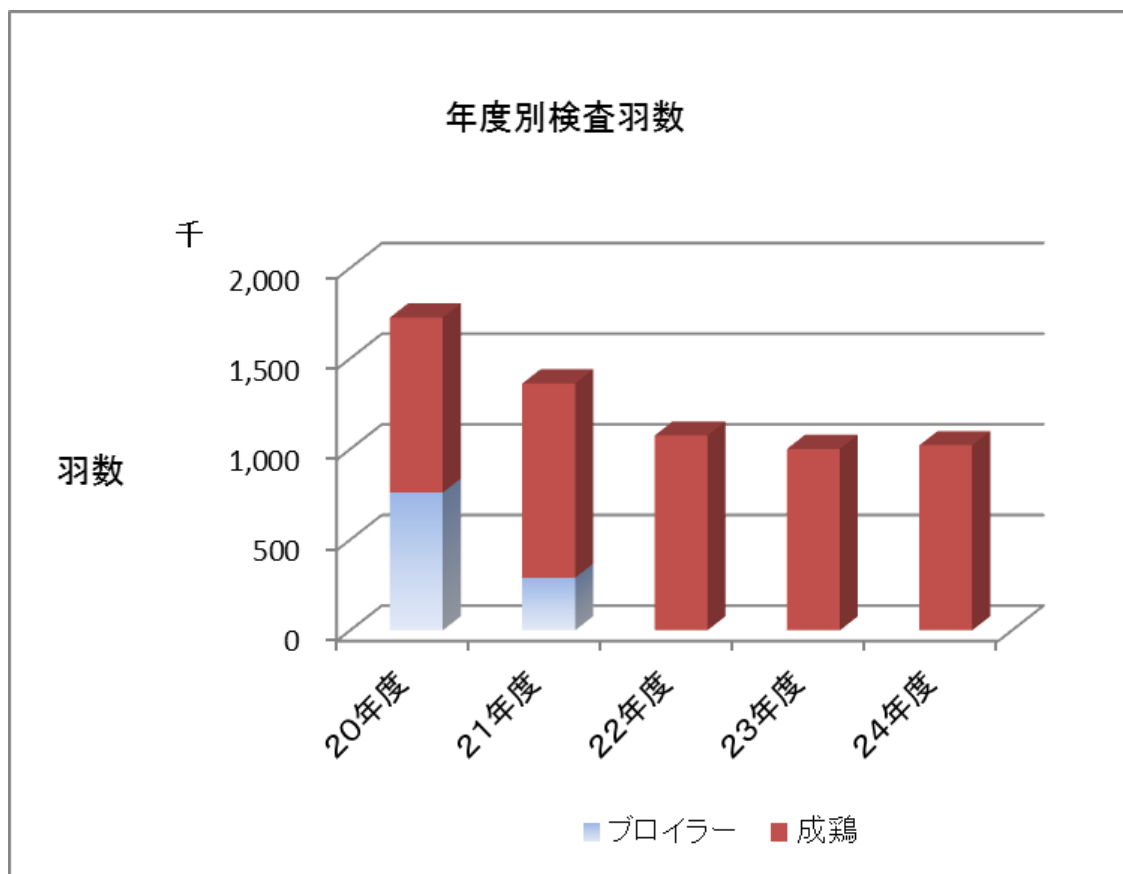
月	ブロイラー	成鶏	あひる	計
4月	0	79,735	0	79,735
5月	0	103,360	0	103,360
6月	0	99,226	0	99,226
7月	0	81,901	0	81,901
8月	0	65,281	0	65,281
9月	0	73,161	0	73,161
10月	0	83,716	0	83,716
11月	0	72,516	0	72,516
12月	0	102,030	0	102,030
1月	0	76,132	0	76,132
2月	0	88,392	0	88,392
3月	0	95,696	0	95,696
	0	1,021,146	0	1,021,146



(2) 年度別検査羽数推移

年度	ブロイラー	成鶏	あひる	検査羽数
20年度	760,713	965,928	0	1,726,641
21年度	290,701	1,071,654	0	1,362,355
22年度	0	1,075,405	0	1,075,405
23年度	0	1,001,585	0	1,001,585
24年度	0	1,021,146	0	1,021,146

* ブロイラー処理施設が平成21年10月1日より休業、平成22年8月6日より廃止



2 精密検査実施状況

(1) 精密検査件数

検査項目	と体(肉類)	器具類
一般生菌数	122	58
大腸菌群数	122	58
黄色ブドウ球菌数	122	58
カンピロバクター	122	58
サルモネラ属菌	122	58

(2) 残留抗菌性物質検査件数

検体	検査検体数	陽性検体数
腎臓等	40	0

(3) 抗菌性物質等の残留物質モニタリング検査件数

検査項目	検査検体数	検査結果
抗菌性物質	8※	全て基準値以下
内部寄生虫用剤	3	

※延べ検体数は28

内訳

検体	延べ検体数	検査項目	備考
鶏の筋肉	3	フルベンダゾール	内部寄生虫用剤
	4	スルファジミジン	合成抗菌剤
	4	ナイカルバジン	合成抗菌剤
	4	スルファジメトキシシン	合成抗菌剤
	4	スルファメラジン	合成抗菌剤
	4	スルファキノキサリン	合成抗菌剤
	4	クロピドール	合成抗菌剤
	2	テトラサイクリン系	抗生物質
	2	ベンジルペニシリン	抗生物質
合計	31		

3. 検査廃棄処分したものの内訳

(1) 食鳥検査羽数及び食鳥のとさつ、内臓の摘出禁止または廃棄したものの原因

B 処理場

平成24年度

検査羽数		ブローラー			成 鶏			あひる／七面鳥				
		0			1,021,146			0				
		禁止	全部 廃棄	一部 廃棄	禁止	全部 廃棄	一部 廃棄	禁止	全部 廃棄	一部 廃棄		
処分実羽数					26,378	3,181	6,838					
疾病別 の 羽 数	ウ イ ル ミ ス ジ ア 病	鶏痘			0	0	0					
		伝染性気管支炎			0	0	0					
		伝染性喉頭気管炎				0	0					
		ニューカッスル病				0	0					
		鶏白血病				0	0					
		封入体肝炎				0	0					
		マレック病				0	0					
		その他				0	0					
		疾 病	細 菌 病	大腸菌症			0	0				
	伝染性コリーザ					0	0	0				
	サルモネラ症						0	0				
	ブドウ球菌症						0	0				
	その他						0	0				
	疾 病 の 羽 数	そ の 他	毒血症			0	0					
			膿毒症				0	0				
			敗血症				0	0				
			真菌症				0	0				
			原虫病				0	0	0			
			寄生虫病				0	0	0			
		疾 病 の 羽 数	他 の 羽 数	変性			0	0	0			
				尿酸塩沈着症				0	0	2		
				水腫				0	0	0		
				腹水症				10,685	803			
				出血				0	0	4,831		
				炎症				1,057	118	398		
				萎縮				0	0	0		
				腫瘍				24	434	2		
臓器の異常な形等							0	0	0			
異常体温							0	0				
疾 病	病	黄疸			2,407	96						
		外傷				175	14	1,605				
		中毒諸症				0	0					
		消瘦及び発育不良				11,194	1,682					
		放血不良				738	34					
		湯漬過度				13	0					
		その他				85	0	0				
計		0	0	0	26,378	3,181	6,838	0	0	0		

(2) 月別疾病羽数・処分羽数

平成24年度 B施設 (成鶏のみ)													
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
処理羽数	79,735	103,360	99,226	81,901	65,281	73,161	83,716	72,516	102,030	76,132	88,392	95,696	1,021,146
死鳥	187	358	171	179	92	125	122	60	427	497	257	146	2,621
禁止	1,237	1,469	2,946	2,674	1,413	1,805	1,684	1,633	3,474	1,688	3,508	2,847	26,378
全部廃棄	188	431	350	362	239	348	433	264	370	196	0	0	3,181
一部廃棄	736	844	594	483	407	634	321	595	564	414	464	782	6,838
禁止の内訳													
著しい削瘦	534	585	599	1,111	621	867	830	714	1,536	931	1,633	1,233	11,194
腹水症	581	591	991	1,068	579	749	671	718	1,418	502	1,481	1,336	10,685
腹膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
炎症	51	87	114	71	26	32	42	65	193	136	141	99	1,057
外傷	20	15	7	25	15	6	9	5	17	25	2	29	175
皮膚病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放血不良	23	47	74	101	52	45	57	59	74	44	89	73	738
黄疸	25	120	1,159	217	120	104	74	72	234	47	159	76	2,407
腫瘍	1	20	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	24
その他	2	4	2	81	0	2	1	0	2	0	3	1	98
全部廃棄の内訳													
著しい削瘦	103	172	155	206	164	218	193	137	203	131	0	0	1,682
腹水症	41	111	85	86	39	67	179	80	88	27	0	0	803
腹膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大腸菌症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ブドウ球菌症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
黄疸	0	0	75	2	0	4	3	12	0	0	0	0	96
皮膚病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マレック病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外傷	1	3	2	4	3	0	1	0	0	0	0	0	14
放血不良	1	1	0	7	1	2	19	0	1	2	0	0	34
炎症	11	19	9	17	1	0	18	6	9	28	0	0	118
白血病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
DFD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
敗血症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腫瘍	31	125	24	40	31	57	20	29	69	8	0	0	434
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一部廃棄の内訳													
変性	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
大腸菌症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
敗血症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腹水症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
出血	522	729	472	323	276	440	227	391	361	282	300	508	4,831
炎症	82	29	30	33	24	30	25	30	34	17	26	38	398
腫瘍	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
黄疸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外傷	132	86	91	127	107	164	67	174	169	115	138	235	1,605
著しい削瘦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放血不良	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

第4章 その他の事業

衛生講習会等の実施状況

1) 一般消費者を対象とした食肉衛生知識の普及啓発

平成24年10月27日（土）に、岐阜市立長森中学校2年の生徒40人を対象とし、「職業講話」の中で、と畜検査の概要及び食肉衛生の知識について講習及び質疑応答を行った。

2) 岐阜市食肉卸売市場関連事業者等を対象とした衛生管理と食の安全への意識向上啓発

- ・ 場内衛生担当者会議（参加団体9団体）4回
- ・ 「食肉衛生検査所通信」の発行4回

3) 岐阜市食肉卸売市場関連事業者等を対象とした伝染病の講習及び演習訓練

平成25年2月5日（火）に、法定伝染病である炭疽が豚で確認された場合を想定し、「炭疽について」として、豚や人の炭疽の病状、対策について講習会を行い、実際に演習訓練を行った。

第 5 章 調査研究

1. 調査研究発表一覧

年	月	発表演題	発表場所
13	2	豚の大腸における水腫様病変の病理学的検討	平成12年度岐阜県食肉衛生検査技術研修会
13	2	牛の内臓の細菌汚染状況について	平成12年度岐阜県食肉衛生検査技術研修会
13	2	牛内臓から検出された病原細菌に関する検討	平成12年度岐阜県食肉衛生検査技術研修会
13	10	牛内臓搬送ラインの改良による肝臓細菌汚染防止効果について	第12回全食協東海北陸ブロック研修会
14	2	ブロイラー肝臓の細菌汚染対策について	平成13年度厚生労働省食鳥衛生検査技術研修会
14	11	豚の飼養管理とサルモネラ属菌保有状況との関係	第13回全食協東海北陸ブロック研修会
15	2	ELISAを用いた抗生物質検査法について	平成14年度岐阜県食肉衛生検査技術研修会
15	2	食鳥由来 Salmonella Infantis のRAPDを用いた解析	平成14年度岐阜県食肉衛生検査技術研修会
15	2	食鳥処理場における微生物汚染調査と衛生指導について	平成14年度岐阜県食肉衛生検査技術研修会
15	2	豚丹毒抗体調査とPCRを用いた迅速診断	平成14年度岐阜県食肉衛生検査技術研修会
15	10	豚枝肉の微生物汚染状況について	第14回全食協東海北陸ブロック研修会
16	2	豚枝肉の微生物汚染原因についての一考察	平成15年度岐阜県食肉衛生検査技術研修会
16	2	食鳥処理場における食鳥と体および食鳥肉の微生物汚染状況	平成15年度岐阜県食肉衛生検査技術研修会
16	11	Haccpper水を用いた微生物汚染軽減の検討	第15回全食協東海北陸ブロック研修会
16	2	食鳥処理場における衛生指導	平成16年度岐阜県食肉衛生検査技術研修会
17	9	BSEスクリーニング検査陽性時の場内衛生対策演習について	第16回全食協東海北陸ブロック研修会
18	1	牛と畜時における、と体不動化装置を用いたビッシング廃止の取組について	平成17年度食肉衛生技術研修会
19	1	と畜場における、カンピロバクター属菌の汚染実態調査	平成18年度食肉衛生技術研修会
19	11	フルベンダゾール試験法アルミナ酸性カラム精製時におけるsoak法の検討	第18回全食協東海北陸ブロック研修会
20	2	ブロイラー肝臓の次亜塩素酸ナトリウムによる細菌汚染振盪効果について	平成19年度岐阜県食肉衛生検査技術研修会
20	10	QuEChERS法(ケッチャーズ法)を応用した豚肉中のスルファジミジンの迅速分析法の確立	第26回全国食肉衛生検査所協議会理化学部会研修会
20	11	炭疽の発生を想定した演習の実施について	第19回全食協東海北陸ブロック研修会
20	11	豚枝肉の汚染状況の把握と衛生確保に向けての取り組み	第19回全食協東海北陸ブロック研修会
21	2	名古屋コーチンのサルモネラ、カンピロバクター保菌状況調査	平成20年度岐阜県食肉衛生検査技術研修会
21	10	岐阜市食肉地方卸売場における豚丹毒の発生状況とその分離菌株について	第20回全食協東海北陸ブロック研修会
22	2	食鳥処理場へ搬入された鶏のサルモネラ、カンピロバクター保菌状況調査	平成21年度岐阜県食肉衛生検査技術研修会
22	10	弱酸性次亜塩素水を用いた枝肉微生物汚染制御(報告)と今後の応用に関する検討	第21回全食協東海北陸ブロック研修会
23	2	成鶏から分離されたカンピロバクターのニューキノロン系薬剤耐性	平成22年度岐阜県食肉衛生検査技術研修会
24	1	SOPの映像化による、残留動物用医薬品検査法の伝達	平成23年度食肉衛生技術研修会
24	10	口蹄疫の発生を想定した演習実施について	第22回全食協東海北陸ブロック研修会

口蹄疫の発生を想定した演習実施について

岐阜市保健所食肉衛生検査所 ○篠田るり 野口りか*

藤平眞 磯野元彦

*現岐阜市衛生試験所

はじめに

平成22年4月、宮崎県において口蹄疫が発生し、畜産業界に甚大な被害をもたらした。また、アジア周辺諸国において依然として発生しており、国内へのウイルス侵入が危惧されるところである。

これらのことから、当と畜場内で口蹄疫疑似患畜を発見した場合の初動対応を検討し、市場関係者・食肉処理業者等関係団体と共に、平成22年度には疑似患畜を牛、23年度には豚として消毒演習を行い、発生時における課題等若干の知見を得たので報告する。

方 法

1. 準備

年度初めに危機管理対策強化グループを結成し、演習時のタイムスケジュール、人員の配置、消毒区域の設定等を検討し、演習に使用する消毒器具・消毒薬等を購入し、資材を準備した。

演習実施当日までに各関係団体の担当者と演習内容の詳細を打ち合わせし、円滑に進行できるよう配慮した。

2. 演習内容

(1) プレゼンテーション

演習を行う前に、演習参加者全員に向けて口蹄疫の特徴的症状、関係法令、緊急連絡網（通報内容）、使用する消毒薬・消毒方法、被害を最小限にするための初動対応、退場時・帰宅後の留意点、演習の流れ等についてパワーポイントで詳細を説明した。

(2) 消毒に使用した消毒薬・器具機材

消毒薬は炭酸ナトリウムを使用し、4%炭酸ナトリウム水溶液を作成した。消毒に使用する器具機材は、消毒液を作成するための消毒槽、散布するためのジョウロ、噴霧器、食肉処理をするための器具を包むミートラップ（ミートラップに消毒液を浸み込ませる）を用意した。

(3) 役割分担

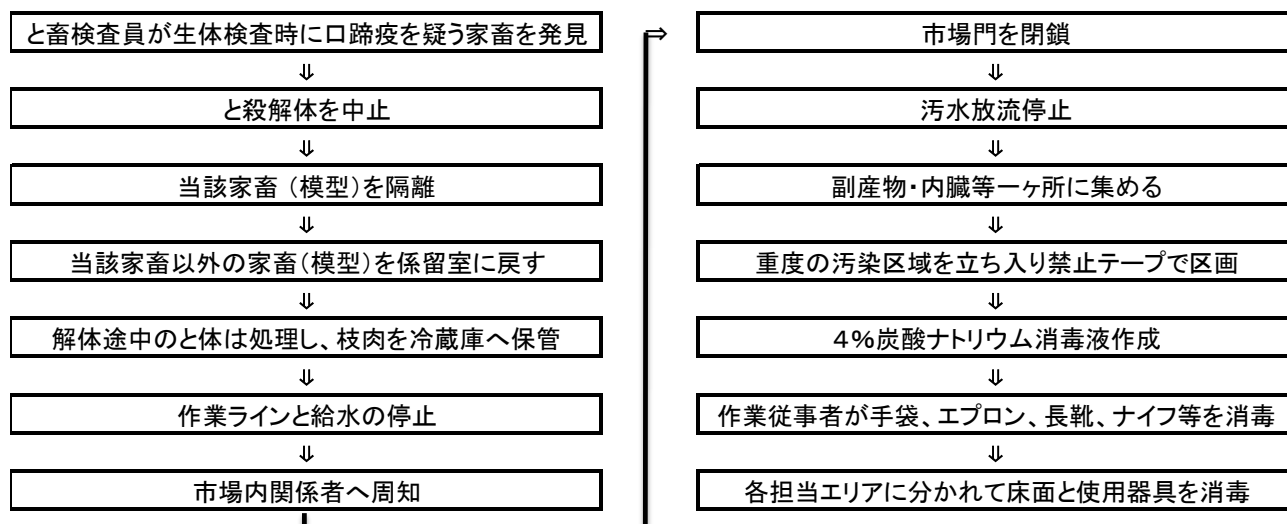
と畜検査員は、消毒薬、消毒エリア、消毒方法を詳細に指示し、と畜業者がそれに従って消毒薬を作成し、不足がないよう配備した。また、解体従事者等がそれを受け取り床面や通常使用している器具等を消毒した。

(4) 行程

と畜検査員が生体検査時に口蹄疫を疑う家畜を発見し、作業従事者による隔離、消

毒等を、団体ごと、場所ごとに作成したマニュアル及び詳細なシナリオにより実施した。
 (下記フローチャートの通り)

消毒演習フローチャート



結果

平成22年度、23年度共にプレゼンテーションを含めた市場内消毒演習を約2時間余りで円滑に遂行することができた。

また、両年とも市場関係者、解体従事者、食肉販売業者等を含めた9団体(50名超)の協力を得て実施することができた。

平成22年度は、牛を疑似患畜として演習を行ったが、その際消毒薬保管場所、消毒液作成場所を一ヶ所としていたため、場内全体へ消毒液が行き渡るのが遅延した。また、各団体ごとに消毒区域を割り振ったため、各自の役割が煩雑となり、進行状況が不明確となったことや、作業従事者の作業量に偏りが生じた。

これらのことを踏まえ、炭酸ナトリウムを常時病畜棟等含めた場内3ヶ所に配備し、迅速に消毒液を作成・供給できるようにした。この結果、平成23年度に豚を疑似患畜として演習を行った際には、円滑に場内全体まで消毒液を届けることができた。また、各団体ごとに明確な役割を設定し、と畜検査員が消毒薬、消毒区域、消毒方法の指示、と畜業者が消毒液の作成と供給、解体従事者等が床面や処理器具の消毒液散布とした。このことで、各自の役割、全体の進行状況、責任の所在が明確となり、と畜検査員が指示する内容を具体化することができた。

考察

演習後の各団体担当者会議において、実際の作業の中では機械音が大きく、市場内関係者へ情報周知するための場内放送が聴き取りにくいといった意見や、ミートラップが

小さく、大きな機械は包み込むのが困難であるなどの申し出があった。また、作業動線を考慮し、立ち入り禁止テープを張ったが、懸肉室の作業従事者が汚染区域を行き来することになるため、予め消毒薬を配備しておくことが望ましいと思われた。

消毒演習は、通常市場内で作業している従事者全員が参加、実体験することが大切で、日頃から危機管理意識を持ち、迅速に対応できる状態にしておくことが重要であると考ええる。

当検査所では、過去数年間、危機管理の対策強化としてBSE発生時対応や炭疽発生に伴う消毒演習を実施しており、経験を積み重ねている。このことで、関係団体の協力体制が整い、情報の伝達と連絡が円滑に行われるようになった。また、市場内関係者の危機意識、衛生意識が向上しているように感じられ、滞りやトラブルが起こることなく迅速、的確に演習を終えることができた。

口蹄疫は、農場で発見されて封じ込められることが望ましいが、極めて伝播力が強いことや防疫措置が大変難しいことなどから、と畜場内まで家畜が持ち込まれた場合を想定した対応により畜産業界への甚大な被害を小さくすることに寄与できるものとする。また、と畜場内で特に重要な事は、早期発見と家畜保健衛生所の職員が家畜伝染病予防法に基づいた防疫措置をとるまでの間に人・家畜・副産物などをできるだけ一か所に集め、迅速に消毒ができる体制を整え、市場門を早期に閉鎖し、汚染の拡大を防ぐことである。そのためには、今回作成した緊急連絡網に基づく情報伝達が迅速・正確に行われ、それぞれの役割を的確に果たすことが肝要である。

消毒演習を通して、日々市場内関係者への衛生指導と情報交換・連携等を図り、定期的に参加・体験型の演習を実施していくことが家畜伝染病の蔓延防止、畜産物損失による経済的打撃を最小限に食い止める手段となり、危機管理体制の強化に繋がると強く感じた。

第6章 付 表

1 岐阜市食肉地方卸売市場概要

(1) 概 要

ア 位 置	岐阜市境川5丁目148番地		
イ 敷 地 面 積	21,879.93 m ²		
ウ 建 物 面 積	7,814.73 m ²		
エ 能 力	と畜処理能力(1日)	大動物 75頭	小動物 600頭
	汚水処理能力(日量)	1,500m ³	
	冷蔵能力(小動物に換算)	1,050頭	
	汚泥脱水能力	4,000kg	
	収容能力	大動物 115頭	小動物 560頭
オ 建 築 年 月 日	昭和42年11月 岐阜市食肉センターとして竣工		
カ 建 築 物			

名 称	面 積	備 考
1. 本 館 棟	4,105.78 m ²	大動物と室 小動物と室 冷蔵庫 懸肉室兼せり場
2. 事 務 棟	381.60 m ²	大動物解体室 小動物解体室
3. 控 室 棟	132.46 m ²	内臓処理室 枝肉処理場
4. 作 業 員 控 室	64.80 m ²	大動物係留所 小動物収容所
5. 調 理 師 控 室	64.80 m ²	市管理事務所 関係事務所
6. 現 業 員 控 室	39.58 m ²	管理人住宅 買受人控室
7. 倉 庫	48.60 m ²	会議室
8. 病 畜 と 室	50.00 m ²	
9. 焼 却 炉 上 屋	98.99 m ²	
10. 洗 車 場	64.00 m ²	
11. 汚 水 浄 化 槽	1,942.40 m ²	
12. ブ ロ ア ー 室	49.17 m ²	
13. 汚 泥 処 理 場	173.00 m ²	
14. ポ ン プ 室	9.00 m ²	
15. 廃 棄 物 処 理 棟	59.42 m ²	
16. お が く ず 置 場	30.00 m ²	
17. 受 付 棟	4.53 m ²	
18. 冷 蔵 庫 棟	496.60 m ²	

キ 機 構

- 岐 阜 市 施設の維持管理及び業務の指導監督
食肉検査(岐阜市保健所食肉衛生検査所)
- 卸 売 業 者 株式会社 岐阜県畜産公社(荷受機関)
授權資本金 5,200万円 払込済資本金 4,950万円
県 700万円 市 700万円 全農 1,350万円 県信連 400万円
県食肉連 1,700万円 県家畜商組合 100万円
岐阜県卸売市場条例に基づき、市場を通じ食肉の委託販売を行う機関であり、食肉の販売代金を基準とする手数料を収受し業務を運営する者
- 買 受 人 市長の承認を受け、本市場でのせり売りに参加し食肉の買受けをする者
- 付 属 営 業 人 市長の承認を受け、本市場での市場業務に附帯した業務を行う者
- 日 本 食 肉 格 付 協 会 牛、豚の枝肉の規格格付けを行う者